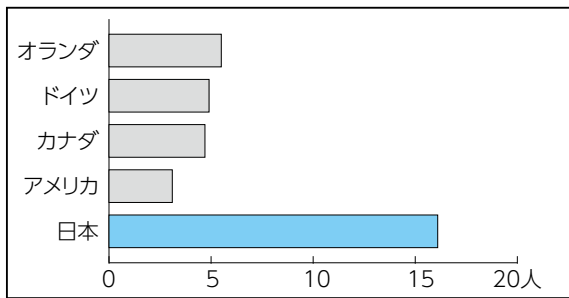


世界の主な国(先進国)の結核罹患率
(人口10万人対の新登録結核患者数)



※日本は平成25年、日本以外は平成24年のデータ。



古くて新しい病気「結核」

3月24日は世界結核デー

結核は昔の病気だと思っていまいませんか。結核は結核菌によって起こり、人から人にうつる感染症です。現在、アフリカやアジアなどでまん延していますが、今でも日本は先進国の中で、結核罹患率(人口10万人対の新登録結核患者数)が高い状況にあります。結核を正しく理解し、予防と早期発見に努めましょう。

空気感染でうつります

結核を発病している人のせきやたんには結核菌が混じっており、空気中に飛び散った結核菌を周囲の人が吸い込むことによって感染します(空気感染)。手を握る、同じ食器を使うなどで感染することはありません。空調管理の悪い狭い場所などは、結核菌が長く滞在するため、結核を発病している人が目の前にいなくても、知らないうちに感染してしまふこともあります。

「感染」と「発病」

結核に感染しただけでは人にうつす心配はなく、また、必ずしも発病するわけ

本文中に記載がないものは、原則として、対象どなたでも、費用無料、申込不要。
 区 地区市民センター、出 出張所、選 生涯学習センター、参 うつのみや表参道スクエア、コ 地域コミュニケーションセンター、活 市民活動センター
 HP ホームページ、Eメールアドレス、域 地域自治センター

ではありません。感染した後、結核菌が増えて初めて体の組織を侵して発病する可能性があります。しかし、健康であれば免疫機能が働いて、結核菌の増殖を抑えます。その人の免疫力が弱まると、結核菌が再び活動を始め発病しやすい状態になります。抵抗力の弱い人(高齢者、過労・栄養不足・他の病気により体力が低下している人)は注意が必要です。

また、もし発病してもせきやたんの中に結核菌を出していない場合は、他の人にうつす心配はありません。

こんな症状には注意

結核の初期症状は風邪の

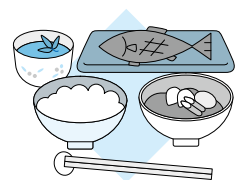
症状によく似ているため、見逃されてしまうことが多くあります。また、高齢者は、せきやたんなど風邪に似た症状が現れないこともあります。せき・たん・微熱が2週間以上続く、体重が減る、食欲がないなどの症状が見られたら、結核を疑って早めに医療機関を受診しましょう。

結核と診断されたら

結核は、通常、薬を医師の指示通り飲めば治ります。自分勝手な服薬中断は、薬の効かない結核菌(耐性菌)ができてしまうことがあります。大切なのは、医師から、「薬を飲むのを止めてもいい」と言われるま

で飲み続けることです。

結核予防のポイント



普段から健康的な生活を心掛けて、免疫力を高めておくことが重要です。夜更かしなど不規則な生活や喫煙は厳禁です。そして、年に1度は必ず健康診断を受け、日頃からバランスのとれた食事と適度な運動を心掛けることが大切です。また、抵抗力の弱い乳児は、結核に感染すると重症になりやすいため、予防するためにはBCG接種が有効です。

3月24日は世界結核デー

ローベルト・コッホは1882年3月24日、結核菌を発見したことを学会で発表しました。世界保健機関(WHO)は、結核問題の重要性を警告し、対策の強化の必要性を訴えるため、この日を「世界結核デー」に制定しました。

保健予防課 ☎(626)1111